

教科シラバス（数 学 科）

科目名	数 学 II	履修学年	履修単位	履修形態	授 業 形 態
		3	3	必 修	一 斉
使用教科書・副教材・準備物					
数学就職問題集（高等学校教育研究会数学部会） 高校数学II（実教出版）、高校数学IIサブノート（実教出版）、ノート					
科 目 の 概 要			学 習 目 標		
前半は就職問題集を用いて、数学I・数学IIに関連した問題を解く。 後半は教科書を使用して「微分と積分」を学習し、現実社会での有用性を理解させる。			<ul style="list-style-type: none"> ・過去に出題された就職問題を数多く解くことにより、実際の試験に対処できるようにする。 ・微分・積分が、瞬間の速さや面積などの具体的な事象の考察に有用であることを理解する。 		
年 間 学 習 プ ロ グ ラ ム					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	就職問題集 <ul style="list-style-type: none"> ・比と集合 ・数と計算式 ・因数分解 ・1次方程式と1次関数 ・2次方程式と2次関数 ・不等式 ・指数関数と対数関数 ・三角比と三角関数 ・数列 ・図形 ・総合問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな計算問題を能率よく計算する。 ・文章をよく読み、題意に適する等式や不等式を立式し解答する。 ・簡単な関数のグラフを書く。 ・既に学んだ基本的な内容を再確認し、適切に応用できるようにする。 ・数列の規則性を見つける。 ・式と図形の性質との関連性が理解できるようにする。 			
2 学期	第4章 微分と積分 <ul style="list-style-type: none"> 1節 微分係数と導関数 <ul style="list-style-type: none"> ・瞬間の速さ、微分係数 ・導関数とその計算 2節 導関数の応用 <ul style="list-style-type: none"> ・接線、増加・減少、極大・極小 	<ul style="list-style-type: none"> ・極限の概念を通して、微分係数と導関数の定義を理解する。 ・公式を用いて、整関数の導関数が求める。 ・3次関数のグラフの概形がかけられるようにする。 			
3 学期	3節 積分とその応用 <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分、定積分 ・面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の概念を理解し、整関数の不定積分が求めるようにする。 ・定積分が求められ、また簡単な図形の面積が求めるようにする。 			
評 価 の 観 点 及 び 内 容					
関心・意欲 ・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習に積極的に参加・挑戦していく意欲を持っているか。 ・授業に熱心に取り組んでいるか。 	表現・処理	<ul style="list-style-type: none"> ・板書された内容がノートに分かりやすくまとめられているか。 ・公式を理解し、微分や積分に関する計算が正確にできるか。 		
数学的な見 方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な問題の内容を数学的に見てとれるか。 ・微分・積分の概念が理解できるか。 	知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な数学的概念・用語・法則を理解しているか。 ・既習事項を理解しているか。 		
評価方法及びその他留意事項					
授業中の態度や課題・ノートの提出状況を加味しながら、総合的に評価する。 各学期の成績は定期考査70％程度、平常点30％程度で評価し、学年末成績は学期成績の平均とする。 教科書、問題集、ノートを忘れないようにし、提出物は期限を守る。					